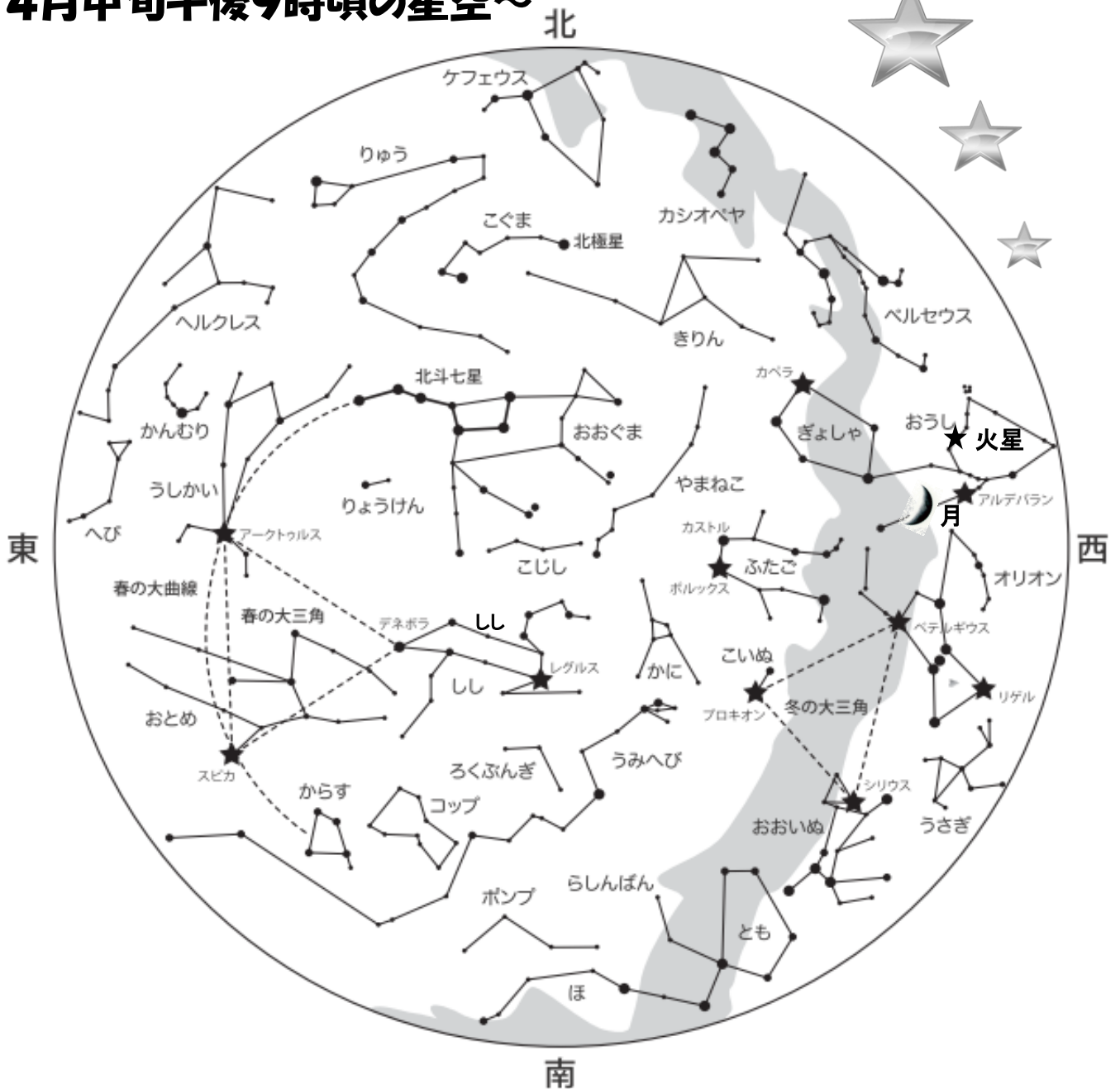


# 松江市立天文台～4月の天文教室～

平成31年4月10日

## 4月中旬午後9時頃の星空～



桜が満開になり、夜の訪れが遅くなってきましたね。西の空には「オリオン座」「おおいぬ座」「こいぬ座」「ふたご座」などの冬の星座が、東の空には「しし座」「おおぐま座」など、春の星座が昇ってきました。寒さも和らいできました。夜桜といっしょに星座も探してみましょう。

平成の天文教室は今回で終了です。次回、令和元年5月8日の天文教室にも是非おいでください。

4月中旬午後9時頃の星空です。

月、火星の位置は4月10日現在のものです。

各天体の見かけの大きさは強調してあります。

この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

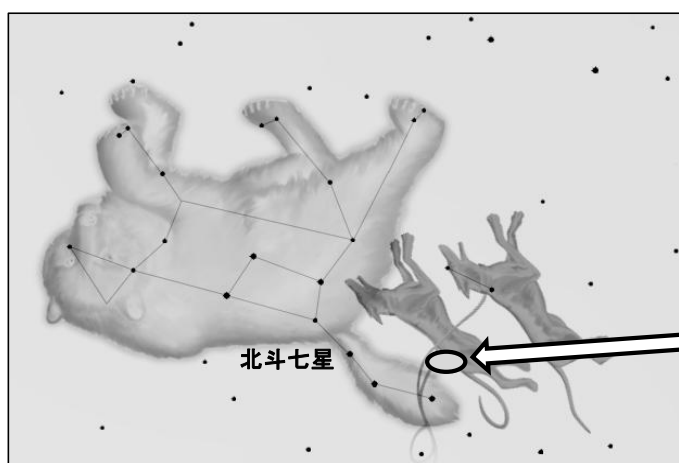
## 今夜の月

今夜の月は、月齢5  
月の表面には火山の火口のような地形が無数に見られますが、これはいん石が衝突してきたもので、クレーターとよびます。天体望遠鏡で、クレーターが形作る複雑な地形をお楽しみください。



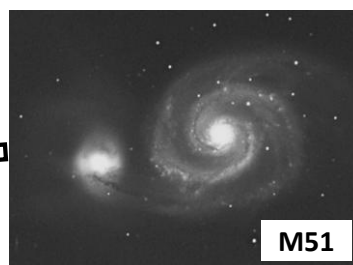
## 今夜見える代表的な星座と有名な天体です。

### おおぐま座とりょうけん座



おおぐま座は古くからある星座ですが、むしろ星座の一部である北斗七星の方が有名です。

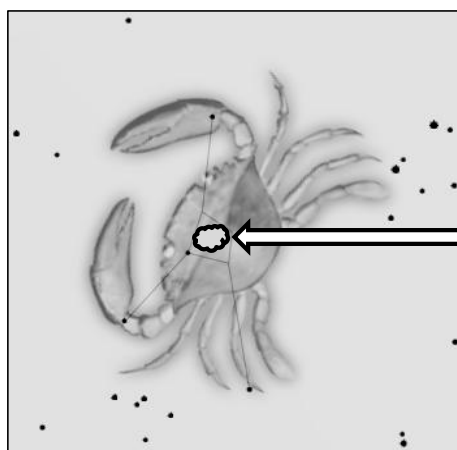
りょうけん座は、北斗七星の南にある小さな星座で、おおぐまを追う2匹の犬として描かれていますが、古代からの星座ではなく、17世紀のポーランドの天文学者ヘベリウスが創設した星座です。



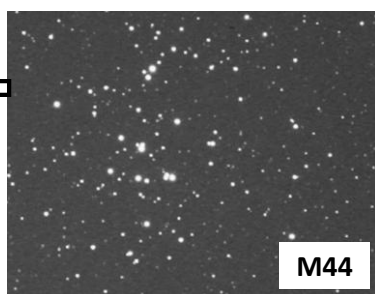
M51 (子持ち銀河)  
ふたつの銀河がつながっている不思議な形をしている銀河です。  
地球からは、2510万光年の距離にあります。

M51

### かに座



かに座は小さく目立たない星座ですが、古くから星占いでよく知られています。ギリシャ神話では、英雄ヘルクレスに踏まれて命をおとした、お化けがにと伝えられています。



M44 (プレセペ)

かに座のこうら付近を良く見ると、雲のような光のかたまりが見えます。  
これは散開星団M44プレセペで、双眼鏡で見ると星の集団であることがわかります。  
地球から510光年の距離にあります。

M44

資料のデータは天文年鑑、アストロアーツから引用しています。  
使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。  
また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。

## 次回の天文教室

開催日 5月8日(水) 20時から21時まで  
(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)  
事前の予約は不要です。



★ MAC Matsue Astronomy Club  
松江星の会